

わかやま母親通信

第59号 2018年2月19日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール:w_haharen@wkn.or.jp

生命を生み出す母親は
生命を育て
生命を守ることをのぞみます

7/1(日)in 日高川町:川辺西小学校 同体育館(全体会) HP 和歌山県母親大会
日高川町農村環境改善センター

第63回和歌山県母親大会県実行委員会を立ち上げました

2月17日(日)に会議を開催し、前半は第四回全県代表者会として、昨年の12.8女性・母親平和行動について総括し、3.8国際女性デーの取組みや原発ゼロ集会について話し合いました。女性は平和・人権・くらしの守り手として力強く歩んでいます。

後半は、第一回県実行委員会に切り替え、「第六三回和歌山県母親大会の開催にあたって」(裏面に掲載)が確認され、大会本部役員9名が承認されました。すでに立ち上げられている現地(日高)実行委員会の実行委員長と事務局長も紹介されました。

県実行委員として、各郡市母連、各加盟団体から担当者が出席してくれました。但し、団体によっては4月の年度初めに実行委員が交替する場合があります。県役員も新たに追加推薦をして、全県代表者会・実行委員会の承認を得たいと思っています。

第64回日本母親大会 in 高知

*日時 2018.8.25~26

*開催地 高知市内

高知県で開催されるのは初です。現地の運動を励ます意味でも、多くの参加をお願いします。

第51回近畿ブロック母親運動学習会 京都市で開催される

2月3日(土)~4日(日)、京都教育文化センターを会場にして開催され、和歌山県からは22名が参加しました。3日は「食、平和、社会保障、教育、原発、母親運動」の分科会に分かれて学習と討議をしました。和歌山は「平和」の分科会を担当し、和歌山合同法律事務所の芝野友樹氏に助言をお願いし、「9条改憲 NO!~平和は人権の源~」と題して話し合いました。芝野氏は、自民党改憲草案の反民主主義的な内容や安倍9条改憲の危険な狙いについて、丁寧に説明して下さいました。話し合いは3000万署名の各地の取組みに広がり、まだまだ広がりが不十分で、「どう取り組めば…。」と言った苦労や悩みが出されました。その中で、和歌山の参加者からの「はがき行動や市民アクションの取組み」紹介に関心が集まり、質問や賛同の声が起きました。

「9条改憲はだめ!戦争しない日本を」の世論を大いに広げようと確認し合いました。

4日は全体会。男性合唱「うた草」の平和の歌声で始まり、講演は、私学現役の先生の「歴史に学び、未来にいかそう~憲法9条変えさせない~」と題したお話でした。

社会科教師のU・H氏は、焦点が当たることの少なかった戦争孤児の戦後を丁寧に調べ、ついにNHKにも取り上げさせたり、慰安婦問題も取り上げた歴史教科書を作成し検定を合格(奇跡に近い)させるなど、憲法に基づく平和と真の教育をめざした精力的な活動や実践を、ユーモアたっぷりに、そして熱く、話して下さいました。

各府県交流では、有田母連事務局長が「有田地方の公立病院に産科設置を」と女性が声を挙げ、多くの人と協力し実現できたことを原稿なしで発言してくれました。

オープニング「うた草」の方々	各府県交流 和歌山の発言	各府県交流 京都のメッセージ

県母親大会開催にあたっての確認事項

*大会実行委員会は大会ごとに新たに立ち上げ、確認事項もその都度確認しています。

第六三回和歌山県母親大会の開催にあたって

和歌山県母親大会は、「生命を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」のスローガンを掲げて、母親・女性の要求と活動を持ち寄り、学び合い、集約する、交流と連帯の広場です。

分科会の「申し合わせ」は満場一致で決定し、一致できないときは、今後の課題として討議の過程を大切にします。

一 第六三回和歌山県母親大会は、大会実行委員会が主催します。
 二 大会実行委員会は、和歌山県母親大会連絡会の呼びかけに応じた郡市連絡会・県団体・労組(女性部)によって構成され、その代表(複数可)及び必要な個人を実行委員とします。実行委員長一名、副実行委員長若干名、事務局(集団)を選出します。

三 大会実行委員会は、大会の大綱その他必要な決定を行います。
 四 大会実行委員会は、現地(日高郡市母親大会実行委員会)と協力し、大会の成功をめざします。

五 県常任委員会は大会運営委員会、県役員会は大会本部役員会として、大会成功に向けて任務を果たします。

六 大会実行委員会は、二〇一八年二月から七月までとします。
 七 会員券・分担金・その他財政活動によって大会を支えます。

八 予算と財政報告は大会実行委員会の承認を求めます。
 大会実行委員会の終了後は、和歌山県母親大会連絡会として、「宣言」「決議」「申し合わせ」にもとづいて運動をすすめます。

二〇一八年二月一七日

第六三回和歌山県母親大会実行委員会